

【 パソコンのおさらい : 今さら聞けないパソコンの基本 】

「ローマ字入力」と「かな入力」の違い

パソコンを使った文字の入力方法には大きく分けて「ローマ字入力」と「かな入力」の2種類があります。(パソコンの初期設定では「ローマ字入力」が選択されています)

1. **ローマ字入力**とは、キーボードの「ローマ字」のキーを押して、日本語を入力する方法です。実際に押すキーは、「A」から「Z」の26個のため、かな入力よりも少ないキー数で入力できます。

<ローマ字入力の例>

「あ」	→	
「きゃ」	→	
「いった」	→	
「がっこう」	→	

2. **かな入力**とは、キーボードに書かれている「ひらがな」のキーを押して日本語を入力する方法です。実際に押すキーの数は、「あ」キーから「ん」キーで50個前後と増えてしまいますが、ひとつのキーを押してひとつの文字を入力できるのでローマ字入力よりキーを押す数が少なくて済みます。

<かな入力の例>

「あ」	→	
「きゃ」	→	を押しながら
「いった」	→	を押しながら
「がっこう」	→	を押しながら

ローマ字入力もかな入力も、メリット・デメリットがありますので一概には言えませんが、これから文字入力を覚えようと考えている方は「ローマ字入力」をおすすめします。

その理由として、ローマ字入力の方が覚えるキーの数が少ないこと、かな入力と比べて入力する際の指の移動距離が少ないこと、キーの位置を覚えやすく、素早く入力出来る、などがあげられます。

ローマ字入力している最中に、いきなり「かな入力」になってしまった！
なんてことはありませんか。

これは、操作中に誤って入力モードを切り替えるショートカットキーを押してしまったことによる問題です。

言語バーを使ってローマ字入力に戻すことができますが、いちいちマウスにもちかえて操作するのもめんどろです。入力モードを切り替えるショートカットキーを押すと元に戻すことが可能です。

入力モード切り替えのショートカットキーは次のようになります。



〔無変換〕キーを押してローマ字入力からカナ入力に変わってしまった場合は、再度〔無変換〕キーを2回押すと、ローマ字入力に戻ります（1回押すと半角カナ入力になります）。